

第一回館山市議會臨時會會議錄（第三号）



第一回館山市議会臨時会會議録（第三号）

昭和四十四年一月招集

一、一月三十日（木曜日）

一、議事日程（第三号）

第一 議長の選挙

午後二時十八分

開 議

○副議長（西村真次君） 本日の出席議員数 二十六名

これより第一回市議会臨時会第三日の会議を開会いたします。

本日の議事はお手もとに配付の日程表により行ないます。

これより議長の選挙を行ないます。

おはかりいたします。

選挙の方法につきましては、地方自治法第百十八条第二項により指名推選によりたいと思います。

これに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○副議長（西村真次君） 御異議なしと認めます。よって選挙の方法は指名推選によることに決しました。



おはかりいたします。

指名の方法は小沢恵太郎君において指名することにいたしましたと思います。

これに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○副議長(西村真次君) 御異議なしと認めます。

よって小沢恵太郎君において指名することに決しました。

二二番議員 小沢恵太郎君

(二二番議員登壇) (拍手)

○二二番(小沢恵太郎君) 今回吉田勇治郎君の議長辞任が認められ欠員となり、新たに議長の選挙ということになり、それにつきまして指名推選という形を取られることになりました。

さらに、その指名推選者として皆さまの満場一致の御協力によりまして不肖私が推選者との光栄をにないましたことを心から感激いたしますとともに厚くお礼を申し上げる次第でございます。

ここに慎しんで新たな議長を御推薦申し上げますので、なにとぞ御協力のほどを切にお願い申し上げます。ける次第でございます。

長い間、館山市議会に貢献されました人格、識見ともに高潔なる西村真次君をわが館山市議会の議長といたしまして慎しんで御推薦申し上げます、ここに皆さまにお願い申し上げます。

どうぞ満場の各位の御推薦を得まして満場一致をもって西村真次君を議長に御指名たまわりますようお願い申し上げます。願ひ申し上げます、ここに御推薦申し上げる次第でございます。(拍手)

○副議長(西村真次君) おはかりいたします。



ただいま小沢恵太郎君において指名いたしました西村真次を議長の当選人と定めますことに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○副議長(西村真次君) 御異議なしと認めます。よってただいま指名されました不肖西村真次が議長に当選いたしました。

○議長(西村真次君) 大へん、座が高うございますが、議長席を空席にすることはできませんので、この場から一言、就任のごあいさつを申し述べさせていただきますと思います。

これまで副議長の職務遂行にきゅうきゅうとして参りました私が、このたび引き続きまして議長の重職に御指名をたまわりましたことは、私といたしましては、まことに驚怖かつ汗顔の至りに存する次第でございます。しかしながら、この際、特に議会の平常な姿、また、議事の円滑な運営、これをお願いいたしましたして、あえて非才をも、顧みず、潜越をも顧みず、お引き受けいたすことになった次第でございます。

なにとぞ、いっそうの御指導と御援助をたまわりますように、心からお願いを申し上げてやみません。

御承知のように、わが館山市も日を追うて躍進の方向に向いつつあります。かようなときに私ども議会に課せられた使命というものは、いよいよ重かつ大と言わなければならないのであります。

どうか、議員各位におかれましては、さらに融和され協調されまして、すべて円満のうちに市勢伸展のために御努力をたまわりますように、幾重にもお願いを申し上げます、ごあいさつにかえる次第でございます。

(拍手)

○議長(西村真次君) ただいまの議長の選挙の結果、副議長が欠員となりました。

おはかりいたします。



副議長の選挙を本日の日程に追加し、ただちに、選挙を行ないたいと思います。

これに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(西村真次君) 御異議なしと認めます。よって副議長の選挙を日程に追加し選挙を行なうことに決しました。

これより副議長の選挙を行います。

おはかりいたします。

選挙の方法につきましては地方自治法第百十八条第二項の規定により指名推選によりたいと思います。

これに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(西村真次君) 御異議なしと認めます。よって選挙の方法は指名推選によることに決しました。

おはかりいたします。

指名の方法は田村源治郎君において指名することにしたと思います。これに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(西村真次君) 御異議なしと認めます。よって田村源治郎君において指名することに決しました。

二五番議員 田村源治郎君御登壇願います。

(二五番議員 登壇) (拍手)

○二五番(田村源治郎君) ただいま議題となりました副議長指名推選に皆さまの満場一致の御協力によりまして不肖私に推選者との光栄をになわれましたことを厚くお礼申し上げます。

本議会の副議長には人格識見とも高く最適任者と認める小沢恵太郎君を御推薦申し上げます。



どうぞ満場の御賛成をお願い申し上げます。(拍手)

○議長(西村真次君) おはかりいたします。

ただいま田村源治郎君において指名いたしました小沢恵太郎君を副議長の当選人と定めますことに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(西村真次君) 御異議なしと認めます。よってただいま指名されました小沢恵太郎君が副議長に当選されました。

ただいま副議長に当選されました小沢恵太郎君が議場におられますので本席より会議規則第三十二条第二項の規定による告知をいたします。

この際副議長小沢恵太郎君を御紹介いたします。

(副議長登壇)

○副議長(小沢恵太郎君) 皆さま方の満場一致をもちまして館山市議会の副議長をおおせつかりましたが、もとより私は浅学非才でございますして、その任に耐え得るかどうかは疑問でございますが、この驚馬にむちうちまして、そうして皆さまの御協力をたまわりまして大任を果たさしていただきたいと考える次第でございます。

今後とも、何分、御指導御鞭撻をお願いし、ごあいさつとさせていただきます。お願いいたします。(拍手)

○議長(西村真次君) この際、本間市長より発言を求められております。

暫時これを許します。

(市長登壇) (拍手)

○市長(本間譲君) 一言感謝、お礼を申し上げたいと思います。市民の非常に大きな関心事でありました議長・副議



長の選挙も皆さま方の非常なる御熱意によりまして、きわめて円満裏に決定を見ましたことはまことに感謝に耐えない次第でございます。厚くお礼を申し上げたいと思います。

前吉田議長さんには、このたび一身上の都合で辞職されましたわけでございますが、吉田前議長さんは、多年の経験を生かされまして、非常に議会に新風を送られ、また市の発展のために非常に新しい角度で私ども御指導をいただいていたわけでございます。この席から慎しんで感謝を申し上げます。今回議長さんに御任されました西村さんには、これまで副議長さんとして、非常にお骨折をいただいていたわけでございますが、その手腕等が認められまして、今回議長に満場一致で御推薦をされましたことはまことに館山市のためにも喜びに耐えないところでございます。

西村議長さんは非常に固い方でありまして、法律的にも、いろいろ、造詣が深いし、いろいろの面でやはり新しい角度で考えられておられるわけでございます。これから、館山市も御承知のように本年は特に明かるい希望の持てる年ということが、言い得ると思います。

それは、大きな面におきましては、背骨道路とか、一二七号線の建設とか、東西線の電化複線、観光施設の充実とかの計画が着手される年でございますし、また館山市におきましても、観光的の事業をいろいろやっておるわけでございます。また、これから、学校の施設の建設の問題とか、社会福祉の問題とか、市民体育の向上とか、いろいろ新しい施策が考えられておるわけでございます。非常に重要な大事なときに西村さんを議長に迎えましたことは本当に館山市のためにも大へん喜ばしいことでございますので、西村議長さんを大いに御歓迎申し上げます。

また、小沢副議長さんにおかれましては、やはり長い間、いろいろの面で市政に御貢献なされましたし、ことに議連の委員長とされましても、非常に手際よくいろいろ御指導をなさっておられました。まことに私は立派な副議



長さんだということが言えると思いますが、どうぞ一つ正副議長さんにおかれましては、いっそう我々を御鞭撻願ひまして、館山市の発展のためにいっその御協力御指導をお願い申し上げまして、私のお礼の言葉といたす次第でございます。(拍手)

○議長(西村真次君)おはかりいたします。

本臨時会の会議に付された案件はすべて議了されました。

よって会議規則第七条の規定により本日をもって閉会いたしますことに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(西村真次君)御異議なしと認めます。よって本臨時会は、これにて閉会することに決定いたしました。どうもごろうさまでございました。

午後二時三十二分

閉 会

本日の会議に付した事件

一、議長の選挙

一、副議長の選挙

出席議員

吉	田	勇治郎	石	井	輝	久
嶋	田	石	蔵	伊	賀	多
藤	田	益	治	磯	辺	博



白熊	三幣	小柴	速山	五十嵐	島野	小沢	田中	秋山	望月	山口	欠席議員	菊井	江田	黒川
盛太郎	勇	孝	ヨネ子	昇	茂樹郎	恵太郎	禄郎	六三郎	照正	康		敏博	徳太郎	真次
黒川	西村	山田	石井	安西	中村	飯田	田村	安沢	鈴木					正
	真	教		益	省	義	源	徳	市					
	次	字	正	男	吾	男	郎	順	蔵					

出席事務局職員  
一、第一日目に同じ

右会議の次第を録しここに署名す。

昭和四十四年一月三十日



館山市議會議長

同 副議長

館山市議會議長

同 署名議員

同

吉田 西村 西村 遠山 五十嵐 井

